



## 2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東  
 コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 田中 彰一  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 杉山 茂紀 TEL 042-764-0392  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	9,324	10.0	1,112	40.4	1,171	39.9	867	54.3
2025年3月期	8,480	13.6	792	304.5	837	243.6	561	242.0

(注) 包括利益 2026年3月期 1,003百万円(60.9%) 2025年3月期 624百万円(100.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	140.51	—	7.3	7.7	11.9
2025年3月期	91.17	—	4.9	5.6	9.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 一百万円 2025年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	15,173	12,174	80.2	1,970.93
2025年3月期	15,451	11,590	75.0	1,879.99

(参考) 自己資本 2026年3月期 12,174百万円 2025年3月期 11,590百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	2,052	△465	△443	6,037
2025年3月期	178	△332	△444	4,813

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	435	76.8	3.8
2026年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	435	49.8	3.6
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00		77.2	

## 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年同中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期(累計)	3,500	△5.3	65	△49.6	77	△49.1	52	△43.4	8.42
通期	8,800	△5.6	803	△27.8	823	△29.8	560	△35.4	90.66

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	6,499,000株	2025年3月期	6,499,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	322,149株	2025年3月期	333,949株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	6,172,643株	2025年3月期	6,163,684株

2026年3月期の期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式59,500株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	9,274	13.6	1,052	43.0	1,118	41.3	823	54.3
2025年3月期	8,164	12.9	736	207.5	791	181.6	533	164.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	133.36	—
2025年3月期	86.54	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	14,035	11,002	78.4	1,781.24
2025年3月期	14,327	10,540	73.6	1,709.68

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,002百万円 2025年3月期 10,540百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績の概況

(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報等)	15
(収益認識関係)	17
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 生産、受注及び販売の状況	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、米国の通商政策の変化に伴う不確実性の高まりや地政学的リスクの長期化、中国経済の成長鈍化などの影響が見られたものの、A I関連投資の拡大等を背景に、全体としては底堅く緩やかな回復基調で推移しました。

わが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の各種政策の効果を背景に、個人消費及び設備投資が持ち直しの動きを示すなど、緩やかに回復しました。一方で、物価上昇の継続、中東情勢の動向などが景気の下振れリスクとして存在しており、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、次世代通信規格やA Iサーバー、自動車の電装化の進展を背景として、電子部品メーカーによる技術革新への取り組みは年間を通じて継続しましたが、産業機器市場においては在庫調整の長期化が続いたほか、スマートフォン向け電子部品については需要が持ち直しつつあるものの回復の度合いにばらつきが見られるなど、不安定な状況が続いたことなどにより、デバイスメーカーの設備投資は成長分野に絞られ、総じて慎重な姿勢が続きました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル作製依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品業界を中心とした新規先からの受注を獲得しましたが、一部案件については受注時期が翌期へ持ち越しとなりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、受注高は60億62百万円（前年同期比41.0%減）、売上高は93億24百万円（同10.0%増）となりました。

損益につきましては、経常利益11億71百万円（前年同期比39.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益8億67百万円（同54.3%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は39億5百万円（前年同期比50.9%減）、売上高は70億46百万円（同22.6%増）、セグメント利益は16億61百万円（同66.9%増）となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

##### (水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にあることや生成A I需要の拡大に伴うデータセンター向けサーバー用水晶デバイスの需要増加などを受け、デバイスメーカーの設備稼働率は回復傾向となりましたが、市場全体での活発な増産設備投資には至りませんでした。一方で、前期までに受注した案件の納入は順調に進捗いたしました。

水晶デバイス装置の受注高は14億20百万円（前年同期比60.5%減）、売上高は31億50百万円（同113.4%増）となりました。

##### (光学装置)

光学業界では、スマートフォンの出荷台数は回復基調にあるものの、デバイスメーカーの増産設備投資は市場全体では低調に推移しました。このような環境の中、当社は営業活動を継続して推進いたしましたが、前期に見られたような大口案件の受注には至らず、受注高は大幅に減少いたしました。一方で、前期までに受注した案件の納入は順調に進捗いたしました。

光学装置の受注高は2億69百万円（前年同期比90.3%減）、売上高は23億27百万円（同11.2%減）となりました。

## (電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発や顧客からのサンプル作製依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努め、航空宇宙関連を含む新規先からの受注を獲得しました。

電子部品装置・その他装置の受注高は22億15百万円（前年同期比40.5%増）、売上高は15億68百万円（同4.9%減）となりました。

## ② サービス事業

サービス事業においては、ユーザーに対する定期的な稼働状況の確認を通じて潜在ニーズの掘り起こしを図るとともに、顧客の生産性向上に向けた提案活動を推進いたしました。しかしながら、ユーザーの設備稼働状況は回復傾向にあるものの、需要の本格的な伸長には至らず、消耗品販売や保守・メンテナンス需要が想定を下回ったことから、受注及び売上高は前年同期比で減少いたしました。

サービス事業の受注高は21億56百万円（前年同期比6.6%減）、売上高は22億78百万円（同16.7%減）、セグメント利益は5億28百万円（同29.9%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億77百万円減少し、151億73百万円となりました。

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ3億83百万円減少し、113億41百万円になりました。これは主に現金及び預金が14億71百万円増加したものの、売掛金が7億32百万円、仕掛品が5億48百万円、電子記録債権が2億37百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億5百万円増加し、38億31百万円になりました。これは主に投資有価証券が87百万円、退職給付に係る資産が31百万円増加したことによるものです。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ3億21百万円減少し、25億89百万円になりました。これは主に1年内償還予定の社債が4億50百万円、支払手形及び買掛金が1億53百万円増加したものの、電子記録債務が6億1百万円、前受金が3億83百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ5億40百万円減少し、4億9百万円になりました。これは主に社債が4億50百万円、長期借入金が1億円減少したことによるものです。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億83百万円増加し、121億74百万円になりました。これは当期純利益8億67百万円の計上により利益剰余金が増加した一方、配当金4億35百万円の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ12億24百万円増加し、60億37百万円になりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金獲得は20億52百万円（前年同期1億78百万円）となりました。これは主に仕入債務の減少額4億72百万円などによる使用があったものの、税金等調整前当期純利益11億71百万円、売上債権の減少額9億68百万円、棚卸資産の減少額6億52百万円などによる獲得があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金支出は4億65百万円（前年同期比40.3%増）となりました。これは主に定期預金等の預入による支出2億46百万円、有形固定資産の取得による支出2億22百万円などがあったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金支出は4億43百万円（前年同期比0.1%減）となりました。これは主に配当金の支払額4億36百万円などの支出があったことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	63.6	74.5	79.5	75.0	80.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	52.0	56.0	61.0	53.3	67.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	5.5	2.9	0.5	3.2	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	75.4	80.9	713.0	106.4	1,265.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジレシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、世界経済は、各国の政策対応やテクノロジー関連への投資等を背景に一定の成長が見込まれるものの、地政学的リスクの高まりや通商政策の不確実性の継続等により、下振れリスクが意識される状況にあります。

日本経済は、雇用・所得環境の改善や政策効果を背景に内需の拡大により回復が見込まれるものの、原材料価格の上昇や世界経済の減速の影響を受け、成長ペースは鈍化し、緩やかな回復にとどまると見込まれております。

当社グループを取り巻く環境を見ると、主要取引先である電子部品メーカーにおける在庫調整は概ね進展しているものの、スマートフォンをはじめとする最終製品需要の回復は引き続き緩やかにとどまり、設備稼働率の回復も限定的な水準で推移しております。加えて、AI関連を中心とした投資は拡大しているものの、汎用用途における設備投資の本格的な回復時期は依然として見通しづらい状況にあります。一方で、AIやデータセンター、航空宇宙関連需要の拡大、5Gの普及進展、AR・VR・MRといったXR市場拡大、自動車の電動化や自動運転、高度運転支援システムの進展等を背景として、高性能・高精度な電子部品需要は中長期的に拡大が見込まれております。

当社グループといたしましては、取引先の真のニーズを汲み取り、業界別・用途別の需要動向の把握に努め、成長分野が必要とする製品を提供するとともに、リスク管理を徹底し、受注・生産量の確保に努めてまいります。現時点における業績見通しは下表のとおりです。

なお、実際の業績等は今後の社会状況、経済状況の推移により大きく異なる可能性がございます。修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## ①損益 (単位：百万円)

	2026年3月期実績	2027年3月期予想
売上高	9,324	8,800
受注高	6,062	11,000
経常利益	1,171	823
親会社株主に帰属する 当期純利益	867	560

## ②売上高 (単位：百万円)

	2026年3月期実績	2027年3月期予想
水晶デバイス装置	3,150	2,946
光学装置	2,327	1,534
電子部品装置・その他装置	1,568	1,862
サービス事業	2,278	2,458
合計	9,324	8,800

## ③受注高 (単位：百万円)

	2026年3月期実績	2027年3月期予想
水晶デバイス装置	1,420	2,640
光学装置	269	2,260
電子部品装置・その他装置	2,215	3,900
サービス事業	2,156	2,200
合計	6,062	11,000

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,978,440	6,450,300
受取手形	9,813	541
電子記録債権	475,143	237,688
売掛金	3,464,223	2,731,559
商品及び製品	745	2,051
仕掛品	2,143,234	1,594,326
原材料及び貯蔵品	364,266	263,644
その他	290,856	62,581
貸倒引当金	△1,422	△947
流動資産合計	11,725,302	11,341,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,608,072	2,618,953
減価償却累計額	△1,709,920	△1,790,516
建物及び構築物(純額)	898,152	828,437
機械装置及び運搬具	1,021,871	912,723
減価償却累計額	△882,459	△738,847
機械装置及び運搬具(純額)	139,412	173,875
土地	1,970,562	1,970,562
リース資産	51,862	35,988
減価償却累計額	△36,695	△19,229
リース資産(純額)	15,167	16,759
建設仮勘定	52,741	90,971
その他	516,668	548,039
減価償却累計額	△443,149	△466,522
その他(純額)	73,519	81,517
有形固定資産合計	3,149,555	3,162,123
無形固定資産		
リース資産	1,723	430
その他	68,268	62,685
無形固定資産合計	69,991	63,116
投資その他の資産		
投資有価証券	173,248	260,708
繰延税金資産	241,440	214,438
退職給付に係る資産	69,899	101,435
その他	22,944	30,815
貸倒引当金	△981	△981
投資その他の資産合計	506,550	606,416
固定資産合計	3,726,096	3,831,656
資産合計	15,451,399	15,173,402

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	565,494	719,078
電子記録債務	703,547	101,770
1年内償還予定の社債	—	450,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
リース債務	7,246	6,523
未払費用	210,636	192,998
未払法人税等	303,101	188,853
前受金	675,519	292,219
賞与引当金	243,501	272,110
役員賞与引当金	56,000	85,300
製品保証引当金	69,000	52,000
工事損失引当金	32,700	9,200
その他	44,113	119,295
流動負債合計	2,910,860	2,589,348
固定負債		
社債	450,000	—
長期借入金	100,000	—
リース債務	11,333	12,385
退職給付に係る負債	258,317	256,016
株式給付引当金	55,407	66,293
長期末払金	75,235	75,192
固定負債合計	950,293	409,887
負債合計	3,861,154	2,999,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,798,018
利益剰余金	6,351,075	6,782,420
自己株式	△309,269	△297,452
株主資本合計	11,012,716	11,460,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,325	157,264
為替換算調整勘定	431,329	470,445
退職給付に係る調整累計額	47,873	86,363
その他の包括利益累計額合計	577,528	714,073
純資産合計	11,590,245	12,174,165
負債純資産合計	15,451,399	15,173,402

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	8,480,131	9,324,458
売上原価	5,802,408	6,269,811
売上総利益	2,677,722	3,054,646
販売費及び一般管理費	1,885,447	1,942,060
営業利益	792,274	1,112,585
営業外収益		
受取利息	9,337	7,792
受取配当金	4,257	14,281
受取保険金	20,000	—
受取賃貸料	2,159	1,930
保険配当金	18,905	—
補助金収入	157	13,970
為替差益	12,816	21,895
その他	6,316	5,784
営業外収益合計	73,951	65,654
営業外費用		
支払利息	1,679	1,622
支払保証料	1,538	1,534
支払手数料	—	1,244
減価償却費	—	1,328
組合投資損失	24,703	—
その他	767	923
営業外費用合計	28,689	6,653
経常利益	837,536	1,171,586
特別損失		
固定資産除却損	1,201	0
特別損失合計	1,201	0
税金等調整前当期純利益	836,334	1,171,586
法人税、住民税及び事業税	315,967	324,878
法人税等調整額	△41,564	△20,621
法人税等合計	274,403	304,257
当期純利益	561,931	867,329
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	561,931	867,329

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	561,931	867,329
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△105,095	58,938
為替換算調整勘定	130,156	39,115
退職給付に係る調整額	37,096	38,490
その他の包括利益合計	62,158	136,544
包括利益	624,090	1,003,874
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	624,090	1,003,874
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,177,105	2,793,805	6,225,128	△313,430	10,882,608
当期変動額					
剰余金の配当			△435,984		△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益			561,931		561,931
株式給付信託による自己株式の処分				4,161	4,161
譲渡制限付株式報酬					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	125,946	4,161	130,107
当期末残高	2,177,105	2,793,805	6,351,075	△309,269	11,012,716

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	203,420	301,172	10,776	515,370	11,397,978
当期変動額					
剰余金の配当					△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益					561,931
株式給付信託による自己株式の処分					4,161
譲渡制限付株式報酬					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△105,095	130,156	37,096	62,158	62,158
当期変動額合計	△105,095	130,156	37,096	62,158	192,266
当期末残高	98,325	431,329	47,873	577,528	11,590,245

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,177,105	2,793,805	6,351,075	△309,269	11,012,716
当期変動額					
剰余金の配当			△435,984		△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益			867,329		867,329
株式給付信託による自己株式の処分				5,270	5,270
譲渡制限付株式報酬		4,213		6,546	10,760
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	4,213	431,345	11,817	447,375
当期末残高	2,177,105	2,798,018	6,782,420	△297,452	11,460,092

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	98,325	431,329	47,873	577,528	11,590,245
当期変動額					
剰余金の配当					△435,984
親会社株主に帰属する当期純利益					867,329
株式給付信託による自己株式の処分					5,270
譲渡制限付株式報酬					10,760
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	58,938	39,115	38,490	136,544	136,544
当期変動額合計	58,938	39,115	38,490	136,544	583,920
当期末残高	157,264	470,445	86,363	714,073	12,174,165

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	836,334	1,171,586
減価償却費	185,318	252,858
組合投資損失	24,703	—
固定資産除却損	1,201	0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	162	△487
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△60,764	23,223
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	40,000	29,300
賞与引当金の増減額(△は減少)	95,220	28,609
製品保証引当金の増減額(△は減少)	11,000	△17,000
工事損失引当金の増減額(△は減少)	32,700	△23,500
株式給付引当金の増減額(△は減少)	9,775	16,157
受取利息及び受取配当金	△13,594	△22,057
支払利息	1,679	1,622
売上債権の増減額(△は増加)	△921,017	968,971
棚卸資産の増減額(△は増加)	△405,465	652,933
仕入債務の増減額(△は減少)	213,037	△472,427
未払費用の増減額(△は減少)	24,788	△18,706
未収消費税等の増減額(△は増加)	△201,888	201,888
未払消費税等の増減額(△は減少)	△128,313	72,569
前受金の増減額(△は減少)	462,049	△383,905
その他	△36,379	△11,978
小計	170,547	2,469,655
利息及び配当金の受取額	13,589	21,594
利息の支払額	△1,750	△1,622
法人税等の支払額	△3,621	△437,010
営業活動によるキャッシュ・フロー	178,764	2,052,617
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△102,400	△246,514
有形固定資産の取得による支出	△220,721	△222,007
無形固定資産の取得による支出	△31,540	△599
組合出資金の払戻による収入	22,852	383
その他	△203	3,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△332,012	△465,698
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△433,855	△436,199
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△10,529	△7,800
財務活動によるキャッシュ・フロー	△444,384	△443,999
現金及び現金同等物に係る換算差額	116,500	81,635
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△481,132	1,224,554
現金及び現金同等物の期首残高	5,294,560	4,813,428
現金及び現金同等物の期末残高	4,813,428	6,037,983

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとしします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、当連結会計年度末は82,526千円、59,500株です。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、真空技術応用装置の製造・販売、構成部品・付属品の販売、改造工事及び修理を主な事業としており、種類別に区分された事業ごとに包括的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業の種類を基礎とした事業セグメントから構成されており、「真空技術応用装置事業」及び「サービス事業」の2つを報告セグメントとしております。

「真空技術応用装置事業」は、業界別に水晶デバイス装置、光学装置、電子部品・その他装置を製造販売しております。「サービス事業」は主に真空技術応用装置の構成部品・付属品の販売、改造工事及び修理を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位：千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	5,745,502	2,734,628	8,480,131
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,089	7,991	29,080
計	5,766,592	2,742,619	8,509,212
セグメント利益	995,462	753,586	1,749,048
セグメント資産	8,020,000	1,901,149	9,921,150
その他の項目			
減価償却費	166,034	8,792	174,826
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	256,033	5,648	261,682

当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	7,046,228	2,278,229	9,324,458
セグメント間の内部売上高 又は振替高	21,245	13,052	34,297
計	7,067,473	2,291,281	9,358,755
セグメント利益	1,661,261	528,540	2,189,802
セグメント資産	7,308,625	1,701,371	9,009,997
その他の項目			
減価償却費	228,857	7,594	236,452
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	340,989	2,189	343,178

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,509,212	9,358,755
セグメント間取引消去	△29,080	△34,297
連結財務諸表の売上高	8,480,131	9,324,458

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,749,048	2,189,802
セグメント間取引消去	45,006	25,761
全社費用(注)	△1,001,780	△1,102,977
連結財務諸表の営業利益	792,274	1,112,585

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	9,921,150	9,009,997
全社資産(注)	5,530,249	6,163,404
連結財務諸表の資産合計	15,451,399	15,173,402

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門の資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	174,826	236,452	10,492	16,406	185,318	252,858
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額(注)	261,682	343,178	11,532	1,379	273,214	344,558

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の設備投資額であります。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前連結会計年度(自2024年4月1日 至2025年3月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,476,526	383,973	1,860,500
光学	2,620,211	1,186,853	3,807,065
電子部品	1,648,764	1,054,543	2,703,308
その他	—	109,257	109,257
顧客との契約から生じる収益	5,745,502	2,734,628	8,480,131
外部顧客への売上高	5,745,502	2,734,628	8,480,131

当連結会計年度(自2025年4月1日 至2026年3月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	3,150,184	369,517	3,519,702
光学	2,327,394	619,515	2,946,909
電子部品	1,568,650	1,172,955	2,741,605
その他	—	116,239	116,239
顧客との契約から生じる収益	7,046,228	2,278,229	9,324,458
外部顧客への売上高	7,046,228	2,278,229	9,324,458

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,879.99円	1,970.93円
1株当たり当期純利益金額	91.17円	140.51円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 金額(千円)	561,931	867,329
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	561,931	867,329
期中平均株式数(株)	6,163,684	6,172,643

3. 2020年11月24日より「株式給付信託(J-ESOP)」を導入したことに伴い、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額の算定上、信託財産として株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(前連結会計年度は64,667株、当連結会計年度は61,042株)。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,476,526	17.4	3,150,184	33.8
光学装置	2,620,211	30.9	2,327,394	25.0
電子部品装置	1,648,764	19.4	1,568,650	16.8
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	5,745,502	67.8	7,046,228	75.6
サービス事業				
改造工事	1,116,961	13.2	644,161	6.9
部品販売	1,119,192	13.2	1,064,514	11.4
修理・その他	496,815	5.9	571,510	6.1
サービス事業計	2,732,969	32.2	2,280,186	24.4
合計	8,478,472	100.0	9,326,414	100.0

(注) 金額は販売価格によっております。

## ②受注高

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	3,592,457	35.0	1,420,375	23.4
光学装置	2,788,936	27.2	269,965	4.5
電子部品装置	1,576,724	15.4	2,215,579	36.5
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	7,958,118	77.5	3,905,920	64.4
サービス事業				
改造工事	692,512	6.7	522,718	8.6
部品販売	1,120,851	10.9	1,062,557	17.6
修理・その他	496,815	4.8	571,510	9.4
サービス事業計	2,310,179	22.5	2,156,786	35.6
合計	10,268,297	100.0	6,062,707	100.0

## ③受注残

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	3,240,269	49.0	1,510,460	45.0
光学装置	2,204,740	33.3	147,312	4.4
電子部品装置	783,485	11.8	1,430,414	42.6
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	6,228,495	94.1	3,088,186	92.0
サービス事業				
改造工事	388,681	5.9	267,238	8.0
部品販売	—	—	—	—
修理・その他	—	—	—	—
サービス事業計	388,681	5.9	267,238	8.0
合計	6,617,176	100.0	3,355,425	100.0

## ④販売額

セグメントの名称	前連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,476,526	17.4	3,150,184	33.8
光学装置	2,620,211	30.9	2,327,394	25.0
電子部品装置	1,648,764	19.4	1,568,650	16.8
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	5,745,502	67.8	7,046,228	75.6
サービス事業				
改造工事	1,116,961	13.2	644,161	6.9
部品販売	1,120,851	13.2	1,062,557	11.4
修理・その他	496,815	5.9	571,510	6.1
サービス事業計	2,734,628	32.3	2,278,229	24.4
合計	8,480,131	100.0	9,324,458	100.0

## ⑤主要な輸出先

主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は次のとおりであります。

区分	前連結会計年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日		当連結会計年度 自 2025年4月1日 至 2026年3月31日	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
台湾	2,840,822	53.5	2,322,683	52.0
中国	2,060,558	38.8	1,421,723	31.8
ベトナム	70,301	1.3	145,284	3.3
スイス	4,120	0.1	115,319	2.6
韓国	109,108	2.1	109,877	2.5
マレーシア	88,106	1.7	103,741	2.3
タイ	95,018	1.8	96,663	2.2
シンガポール	7	0.0	95,346	2.1
インドネシア	20,252	0.4	36,166	0.8
ニュージーランド	286	0.0	5,020	0.1
その他	18,259	0.2	12,599	0.3
合 計	5,306,840 (62.6%)	100.0	4,464,426 (47.9%)	100.0

(注) ( ) 内は販売実績に対する輸出高の割合です。